



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構群馬支部
群馬職業能力開発促進センター

ポリテクセンター群馬

※生産性向上支援訓練は一般社団法人群馬県情報サービス産業協会がポリテクセンター群馬から認定・委託を受けて実施する公的な職業訓練です。

第1講座 プロジェクト管理技法の向上

1. 概要

プロジェクトマネージャとして必要なプロジェクトに対する基本的な概念の把握、プロジェクト計画・運営・完了評価での留意ポイント・必要技法の紹介を行う。また、グループ演習により理論と経験の結び付けを行う。

本年度のポイント：基本的な理解度を深めるために、アーンドバリューグラフや品質管理グラフからの状況把握演習を行います。また、開発方法論の概要理解に XP 開発についても簡単に触れ、新しい方法論に対する認識の向上をはかる。

2. 対象者
- ・システム開発の初級リーダー・サブリーダー
 - ・近々にリーダー職に付く開発担当者
 - ・経験は豊富だが基礎理論の補強を希望するリーダー

3. 目標
- ・経営的な視点を持ったプロジェクト管理ができる
 - ・基本的な論理に基づいた効果的なプロジェクト管理ができる
 - ・プロセス成熟度の向上を目指すプロジェクト管理の活動が継続できるようになる

4. コース内容

1日目	2日目
■プロジェクトマネジメントの基本 (1) プロジェクトとは (2) プロジェクトマネジメントの目的 (3) 経営的視点から見たプロジェクトマネジメント (4) プロセス成熟度を意識した運営 【演習】 ・プロセス成熟度判定 ■プロジェクト計画策定の基礎 (1) プロジェクト管理の知識体系 (2) プロジェクト計画策定時の考え方 (3) スケジュールリングの仕方 (4) スケジュールの短縮法 ■組織要員計画の基本的な考え方 (1) プロジェクト組織 (2) リソースの割り当て (3) コミュニケーション計画で必要なこと ■リスク管理計画 (1) リスク管理計画に必要な事項 (2) リスク対応策と策定法 ■管理指標 (1) 管理指標がなぜ必要か (2) プロジェクトを管理するための指標とは 【演習】 ・WBS 作成とリスク対策	■プロジェクト運営管理 (1) 代表的な開発手法とその管理ポイント (2) 代表的進捗管理ツール (3) 進捗管理指標 (4) リスクへの対応 【演習】 ・アーンドバリューグラフからの判断 ■品質管理 (1) 品質とは (2) 品質特性 (3) 品質のマネジメントポイント (4) レビューにおける品質管理 (5) テストにおける品質管理 【演習】 ・品質管理グラフからの判断 ■プロジェクト完了評価 (1) なぜプロジェクトの完了評価が必要なのか (2) 完了評価のポイント 【演習】 ・問題の発見と対応策の策定

5. 講師 (株)アイティ・アシスト 小峯 嘉明 氏

6. 受講料 会 員 5,500円 (うち消費税 500 円) (生産性向上支援訓練委託事業対象)
非会員 5,500円 (うち消費税 500 円) (生産性向上支援訓練委託事業対象)

7. 開催方法 リモート研修(Zoom にて実施)

8. 実施日時(募集人数:15~20名程度)

実施日程	開講時間
9月10日(水)	9:00~17:00
9月11日(木)	9:00~17:00



第2講座 マーケティング志向の営業活動の分析と改善

～ どんな職域の人にも役立つ、マーケティング志向のシゴト術 ～

1. 概要

営業活動と聞くと営業職のものと思われがちですが、目まぐるしく変化するビジネス環境のなかで、顧客が求めるニーズにいち早く応えていくためには、社内の中で部門間を横断した協力が不可欠です。この研修では、営業活動とマーケティングの関係性を理解し、マーケティングの本質を再確認します。自社の商品またはサービスの価値を提供するにあたって、営業活動について分析し、改善の検討方法などを紹介します。そして、マーケティング志向という共通認識を持ち、業務効率を向上させ、CX にとっても EX にとっても高い満足が得られるようなシゴト術を身につけていくことを目指します。

2. 対象者 中堅社員

3. 目標
- ・マーケティングの本質を確認し、営業とマーケティングの関係を理解する。
 - ・営業活動の現状把握と分析方法を理解する。
 - ・自社における営業活動を標準化する。

4. コース内容

主な内容	
■マーケティングの本質 ・マーケティングとは ・マーケティングの考え方 ・顧客とニーズ ・マーケティングの本質 ■マーケティング志向の営業活動 ・顧客が求める商品とサービスの提案 ・ニーズと自社商品をつなぐ営業の役割 ・営業プロセスの標準化 ・データを活用した購買行動の分析事例紹介	■営業活動の分析と改善 ・営業活動の現状把握と分析 ・顧客が求める価値の分析 ・DX を活かした営業活動事例紹介 ・営業活動の改善策の検討 ■まとめ ・本日の感想と気づき

5. 講師 有限会社アベレ 蛸原 恵子氏

6. 受講料 会 員 3,300円（うち消費税 300 円）（生産性向上支援訓練委託事業対象）
非会員 3,300円（うち消費税 300 円）（生産性向上支援訓練委託事業対象）

7. 開催方法 リモート研修（Zoom にて実施）

8. 実施日時（募集人数：15～20名程度）

実施日程	開講時間
10月8日（水）	9:00～17:00



第3講座 企画力向上のための論理的思考法

～ 企画力向上に必要な3つのプロセス ～

1. 概要

企画は思い付きではありません。現状の認識・問題の把握、課題解決を背景にして、説得力のある新しい価値を生み出していくためには、たどっていくべきプロセスがあります。この研修では企画力向上に必要な3つのプロセスを丁寧にたどりながら、2日目には実際に企画書を書き、論理的思考法の定着を図っていきます。

2. 対象者 初任～中堅社員

3. 目標
- ・論理的思考法を活用して問題の発見・解決策を理解する。
 - ・論理的なアクションプランを策定する。
 - ・論理的思考法を活用して企画書を策定する

4. コース内容

1日目	2日目
■イントロダクション ・企画力向上に必要な3つの考え方 ・クリティカルシンキング(仮説思考) ・ラテラルシンキング(ゼロベース思考) ・ロジカルシンキング(論理的思考) ・企画力提案に必要な説得力とは ■論理的思考方法(ロジカルシンキング)とは ・ロジカルシンキングとは ・論理的であるための構造 ・筋道、根拠の明確化 ・課題演習 ■企画提案に活用する思考法 ・クリティカルシンキングとは？ ・10の思考の偏り ・課題演習	■企画提案に活用する思考法 ・ラテラルシンキングとは ・ラテラルシンキング実践のコツ ・ラテラルシンキングの発想法 ・課題演習 ■企画書を書く ・3つの思考プロセスを使って企画書を書く ■まとめ ・企画力向上のために不足しているスキル開発計画立案

5. 講師 有限会社アベレ 蛸原 恵子氏

6. 受講料 会 員 5,500円(うち消費税 500円)(生産性向上支援訓練委託事業対象)
非会員 5,500円(うち消費税 500円)(生産性向上支援訓練委託事業対象)

7. 開催方法 リモート研修(Zoomにて実施)

8. 実施日時(募集人数:15～20名程度)

実施日程	開講時間
10月22日(水)	9:00～17:00
10月23日(木)	9:00～17:00

第4講座 ソフトウェア・エンジニアリング(レビュー)

1. 概要

ソフトウェア・エンジニアリングとは何か？システム開発の現場で必要とされるソフトウェア・エンジニアリングの中から、レビューについて、すぐに使える基本的な考え方と、レビューに役立つエンジニアの視点を修得します。

2. 対象者
- ・新入社員の基礎教育が完了している若手システム開発者
 - ・システム開発の初級リーダー・サブリーダー
 - ・要件定義や設計書を評価確認する立場の方

3. 目標
- ・要求工学、品質工学に対する重要性を理解し、現場に必要なエンジニアの視点を身につける。
 - ・欠陥除去活動であるレビューの視点を養い、開発現場へ適用できるようになる。
 - ・ソフトウェア・エンジニアリングに興味を持ち、能動的に学べるようになる。

4. コース内容

1日目	2日目
■ソフトウェア・エンジニアリング概論 1)ソフトウェア・エンジニアリングとは 2)エンジニアリングとサイエンスの違い 3)現場への適用 Practice 現場で語られる品質に関する事実 ■品質エンジニアリング概論 1)品質とは 2)ソフトウェア・エンジニアリングにおける品質 3)ユーザ要求への適合性 4)欠陥と欠陥除去活動(レビューとテストの違い) Practice レビュー効果 ■要求エンジニアリング概論 1)要求とは 2)要求エンジニアリングの How to 3)要件定義で盛り込む品質特性 Practice 要件定義の欠陥検出 ■レビュー技術 1)レビューとは(レビューの心得) 2)各種レビュー技法の概観 3)設計レビューでの勘所 4)品質トレーサビリティ	【欠陥検出演習 Practice】仕様の検証 ・技術的観点 ・値の定義 ・適合性の確認 【欠陥検出演習1】要求仕様中の欠陥検出 ・合目的性の確認 ・ユーザビリティの欠陥検出 ・定量定義の妥当性確認 【欠陥検出演習2】外部設計書 ・設計書内の整合性 ・ユーザビリティの欠陥検出 ・使用検討不足の検出 【欠陥検出演習3】詳細設計書 ・外部設計書との整合性 ・設計書内の整合性 ・使用不備、検討不足の検出

5. 講師 (株)アイティ・アシスト 戸室 佳代子 氏

6. 受講料 会員 20,000円 非会員 30,000円

7. 開催方法 リモート研修(Zoom にて実施)

8. 実施日時(募集人数:25~30名程度)

実施日程	開講時間
11月12日(水)	9:00~17:00
11月13日(木)	9:00~17:00

第5講座 ソフトウェア・エンジニアリング(テスト)

1. 概要

ソフトウェア・エンジニアリングとは何か？システム開発の現場で必要とされるソフトウェア・エンジニアリングの中から、テストについて、基本的な考え方と手法を修得します。また、テストに役立つエンジニアの視点を修得します。

2. 対象者
- ・新入社員の基礎教育が完了している若手システム開発者
 - ・システム開発の初級リーダー・サブリーダー

3. 目標
- ・要求工学、品質工学に対する重要性を理解し、現場で必要なエンジニアの視点を身につける。
 - ・欠陥除去活動であるテスト設計の視点を養い、開発現場へ適用できるようになる。
 - ・ソフトウェア・エンジニアリングに興味を持ち、能動的に学べるようになる。

4. コース内容

1日目	2日目
■ソフトウェア・エンジニアリングの重要性 1)ソフトウェア・エンジニアリングとは 2)現場への適用 Practice 現場で語られるテストに関する事実 ■品質エンジニアリング概論 1)ソフトウェア・エンジニアリングにおける品質 2)ユーザ要求への適合性 3)要件定義で盛り込む品質特性 ■テスト技術 1)テストとは 2)コードレビュー 3)単体テストの技法 4)結合テストの技法 5)テスト設計と設計フィードバック 6)デバッグに必要な「感性」と「視点」 Practice 単体テストの技法、テスト目的他	【テスト設計演習 Practice】 ・運用要件と合目的性 【テスト設計演習1】 単体テスト設計 ・限界値分析 【テスト設計演習2】 単体テスト設計 ・入力系画面のテスト設計 【テスト設計演習3】 単体テスト設計 ・カバレッジ 【テスト設計演習4】 仕様変更のテスト設計 ・レグレッションテスト 【テスト設計演習5】 ・テストケースの再利用 ・設計フィードバック

5. 講師 (株)アイティ・アシスト 戸室 佳代子 氏

6. 受講料 会員 20,000円 非会員 30,000円

7. 開催方法 リモート研修(Zoom にて実施)

8. 実施日時(募集人数:25~30名程度)

実施日程	開講時間
11月19日(水)	9:00~17:00
11月20日(木)	9:00~17:00